

赤ちゃんとお自分の  
身体を守るために

# 生まれてくる 赤ちゃんの ことを知る。

## 徳島大学病院で、 胎児超音波検査を受けませんか？

赤ちゃんの約30人に1人は病気を持って生まれてきます。

もし病気が発見されないまま出産されると、

赤ちゃんは、生まれてすぐ命に関わる危険な状況に陥る場合があります。

そういった状況を適切な治療で回避・軽減するためには、

出産前にどのような病気を持っているか知ることが大切です。

徳島大学病院では、高精度の超音波診断装置を備え、

通常の検査では分かりにくい病気を高確率で発見した実績があります。

超音波診断でひとりでも多くの母子の命を守り、

家族みんなが安心して出産にのぞめることを願っています。

### ● 通常の検査では分かりにくい病気を発見できます

#### 完全大血管転位症

心臓からでる2本の太い血管が入れ替わっている心臓の病気です。全身に酸素がうまく送れず低酸素になります。胎児では見つかりにくい病気ですが、精密超音波で見つかるようになってきています。

#### 横隔膜ヘルニア

お腹と胸を分けている横隔膜に穴があいている病気です。この穴から胃腸や肝臓が胸に入り込むため、呼吸が十分にできず人工呼吸や手術が必要です。胎児治療も行われるようになってきています。

#### 開放性二分脊椎

背骨がうまく成長できず、脊髄神経が外にでている病気です。神経の損傷をできるだけ防ぐことが重要です。多くの場合、帝王切開で分娩し、生まれた当日もしくは翌日には手術を行います。

### ● 検査について

[時期] 妊娠24～28週ごろ

[費用] 6,480円(自費)

[場所] 徳島大学病院 産婦人科 外来

[日時] 毎週金曜日 9:00-12:00 13:00-14:00

検査時間は約30分です。

#### 予約制

※かかりつけの主治医の先生から予約していただくようになります。

胎児超音波検査についてのご相談は、かかりつけの主治医または徳島大学病院 産科婦人科 外来までご連絡ください。

徳島大学病院 産科婦人科 外来

〒770-8503 徳島県徳島市蔵本町2-50-1 TEL.088-633-7175

徳島県